

2022 年 6 月 8 日 (水)

大田スタジアム

13 時 00 分 ~ 15 時 57 分

第93回都市対抗野球大会東京都二次予選

第四代表
決定戦

VS

セガサミー

【イニングスコア】

四死球数
安打数

	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5
	3	4	1	1	1	2	2	0	1		15
セガサミー	2	3	0	0	0	0	1	0	0		6
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
明治安田生命	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	0	1	0	1	1	0	2	2	0		7
	0	0	0	0	0	0	1	0	0		1

【バッテリー・長打】

セガサミー

明治安田生命

投手	舘○、伊波、石垣	投手	高杉●、三宮、大久保、森井
捕手	吉田	捕手	森川、道端
二塁打	黒川、植田	二塁打	
三塁打		三塁打	
本塁打		本塁打	

【野手個人成績】

打順	守備位置	選手名	所属	イニング									打席	打数	安打	公式戦 通算打率	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	(3)	福 岡	所沢支社	左飛			三ゴロ			左飛		二安		4	4	1	.293
2	(4)	新 城	東京第二マーケット開発部	一ゴロ			三飛			中安		空三振		4	4	1	.327
3	(5)	木 田	川崎支社	右飛			中安			中安			空三逃	4	4	2	.313
4	(DH)	小 川	立川支社		二安		中飛					空三振	左飛	4	4	1	.218
5	(7)	森	総合法人第五部		三併打			三ゴロ		死球			中飛	4	3	0	.333
6	(6)	高 瀬	総合法人第四部		投ゴロ			二ゴロ		・			・	2	2	0	.246
	H6	金 子	所沢支社		・			・		右飛			空三振	2	2	0	.152
7	(9)	伊 藤	浦和支社			三ゴロ		中安				空三振		3	3	1	.321
8	(2)	森 川	町田支社			三ゴロ			・			・		1	1	0	.120
	H	泉 澤	八王子支社			・			遊ゴロ			・		1	1	0	.220
	2	道 端	東京第二マーケット開発部			・			・			遊ゴロ		1	1	0	.091
9	(8)	鈴 木	丸の内支社			二ゴロ				右飛		・		2	2	0	.256
	H8	井 村	武蔵野支社			・				・		右安		1	1	1	.357
											チーム合計	33	32	7			

【投手個人成績】

登板順	選手名	所属	勝敗	投球回	球数	打者	被安打	与四死球	奪三振	失点	自責点	公式戦通算 防御率
先発	高 杉	新横浜支社	負	1	30	7	3	2	0	2	2	4.91
2番手	三 宮	新横浜支社		1	27	8	4	1	0	3	3	6.07
3番手	大 久 保	業務部業務G		4 1/3	79	22	7	2	4	1	1	3.81
4番手	森 井	新宿支社		2 2/3	43	9	1	0	4	0	0	0.00
チーム合計				9	179	46	15	5	8	6	6	

【試合詳細】

投打共に噛み合わず、予選敗退となった。
 【1回表】先発の高杉は2つの四球とヒットで1アウトランナー満塁とされると、犠飛とタイムリーヒットを浴び、2点先制される。
 【2回表】2番手の三宮は2本のヒットなどで2アウトランナー1・3塁とされると、2本のタイムリーヒットを浴び、3点追加される。
 【7回裏】3番手の大久保は先頭のヒットと犠打で1アウトランナー2塁とされると、タイムリー2塁打を浴び、1点追加される。ここで4番手の森井に継投し、後続は抑える。
 【7回裏】先頭の新城と木田の連続ヒットと森の死球などで1アウトランナー満塁とし、金子の外野フライでタッチアップを試みるもホームタッチアウトで無得点に終える。
 【9回裏】先頭の木田が振り逃げで出塁するも、後続が凡退し試合終了。

2022 年 6 月 3 日 (金)

大田スタジアム

10 時 00 分 ~ 12 時 07 分

第93回都市対抗野球大会東京都二次予選

敗者復活
1回戦

VS

JPアセット証券

【インニングスコア】

四死球数
安打数

	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
JPアセット証券	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	0	0	2	0	0	0	1	0	×	3
安打数	0	0	3	2	1	2	1	0		9
四死球数	0	0	0	0	0	0	2	0		2

【バッテリー・長打】

JPアセット証券

明治安田生命

投手	門間●、小田川	投手	石毛、大久保○、中崎
捕手	広川	捕手	森川
二塁打		二塁打	
三塁打		三塁打	
本塁打	永井(4回2ラン)	本塁打	

【野手個人成績】

打順	守備位置	選手名	所属	インニング									打席	打数	安打	公式戦 通算打率
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	(3)	福岡	所沢支社	二ゴロ		中飛		二ゴロ		左飛			4	4	0	.295
2	(4)	新城	東京第二マーケット開発部	一ゴロ		右安①			三ゴロ	四球①			4	3	1	.333
3	(9)	伊藤	浦和支社	空三振			遊安		右飛	三ゴロ			4	4	1	.320
4	(DH)	小川	立川支社		右飛		遊併打		中安		一ゴロ		4	4	1	.216
5	(7)	森	総合法人第五部		右飛		左安		右安		遊ゴロ		4	4	2	.381
6	(6)	高瀬	総合法人第四部		空三振		空三振			四球	二ゴロ		4	3	0	.254
7	(5)	木田	川崎支社			中安		左安		敵失			3	3	2	.300
8	(2)	森川	町田支社			投犠打		投犠打		投ゴロ			3	1	0	.125
9	(8)	鈴木	丸の内支社			左安①		二ゴロ		右安			3	3	2	.270
チーム合計												33	29	9		

【投手個人成績】

登板順	選手名	所属	勝敗	投球回	球数	打者	被安打	与四死球	奪三振	失点	自責点	公式戦通算 防御率
先発	石毛	丸の内支社		4	41	15	2	1	1	2	2	4.76
2番手	大久保	業務部業務G	勝	4	50	14	0	1	3	0	0	4.15
3番手	中崎	東京第一マーケット開発部		1	12	3	0	0	1	0	0	2.55
チーム合計				9	103	32	2	2	5	2	2	

【試合詳細】

僅差のゲームを制し、第四代表決定戦へと駒を進めた。

【3回裏】先頭の木田のヒットと森川の犠打で1アウトランナー2塁とすると、鈴木と新城のタイムリーヒットで2点先制する。

【4回表】先発の石毛は先頭にヒットを許し、1アウトランナー1塁とされると、後続に2ラン本塁打を浴び同点にされる。

【7回裏】先頭の高瀬の四球、相手失策、鈴木へのヒットなどで2アウトランナー満塁とチャンスを作ると、新城が押し出しの四球を選び1点を勝ち越す。

【9回表】3番手の中崎が三者凡退に抑え、試合終了。

2022 年 5 月 31 日 (火)

大田スタジアム

13 時 48 分 ~ 16 時 36 分

第93回都市対抗野球大会東京都二次予選

敗者復活
2回戦

VS

NTT東日本

【インニングスコア】

	四死球数	0	0	1	0	1	0	2	2	0	6
	安打数	3	2	1	0	2	0	2	1	0	11
NTT東日本		2	1	0	0	0	0	1	0	0	4
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	安打数	0	1	0	2	1	2	0	1	1	8
	四死球数	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3

【バッテリー・長打】

NTT東日本

明治安田生命

投手	稲毛田、沼田○、多田	投手	高杉●、大久保、三宮、森井、中崎
捕手	保坂	捕手	森川、道端
二塁打	中村、下川	二塁打	新城
三塁打		三塁打	
本塁打		本塁打	

【野手個人成績】

打順	守備位置	選手名	所属	インニング									打席	打数	安打	公式戦 通算打率
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	(3)	福岡	所沢支社	中飛			二ゴロ		左安		二安		4	4	2	.311
2	(4)	新城	東京第二マーケット開発部	見三振			中2		投権打		空三振		4	3	1	.333
3	(5)	木田	川崎支社	空三振			一ゴロ		右飛		死球		4	3	0	.281
4	(DH)	小川	立川支社		三ゴロ		左安①		中安①		空三振		4	4	2	.213
5	(7)	森	総合法人第五部		中安		見三振		三ゴロ		右安		4	4	2	.353
6	(8)	井村	武蔵野支社		空三振			中飛		三ゴロ		・	3	3	0	.333
	H	泉澤	八王子支社		・			・		・	空三振		1	1	0	.225
7	(6)	高瀬	総合法人第四部			中飛		死球		遊直		死球	4	2	0	.267
8	(9)	永廣	町田支社			・		・		・		・	0	0	0	.242
9	(2)	伊藤	浦和支社			空三振		中安		左飛		遊ゴロ	4	4	1	.326
9	(2)	森川	町田支社			二ゴロ		三併打		・		・	2	2	0	.130
	H	金子	所沢支社			・		・		左直		・	1	1	0	.161
2		道端	東京第二マーケット開発部			・		・		・	二ゴロ		1	1	0	.094
											チーム合計	36	32	8		

【投手個人成績】

登板順	選手名	所属	勝敗	投球回	球数	打者	被安打	与四死球	奪三振	失点	自責点	公式戦通算 防御率
先発	高杉	新横浜支社	負	3	52	15	6	1	4	3	3	4.29
2番手	大久保	業務部業務G		3 2/3	54	17	4	3	2	1	1	5.09
3番手	三宮	新横浜支社		1/3	1	1	0	0	0	0	0	5.34
4番手	森井	新宿支社		1	16	6	1	2	0	0	0	0.00
5番手	中崎	東京第一マーケット開発部		1	14	4	0	0	1	0	0	2.70
チーム合計				9	137	43	11	6	7	4	4	

【試合詳細】

序盤の失点が響き、敗退した。

【1回表】先発の高杉は連打などで2アウトランナー1・2塁とされると、後続にタイムリー2塁打を浴び、2点先制される。

【2回表】高杉は先頭にヒットを浴び、2アウトランナー2塁とされると、後続のタイムリー2塁打を浴び、1点追加される。

【4回裏】1アウトから新城が2塁打で出塁すると、木田は凡退するも3塁に進塁し、小川のタイムリーヒットで1点返す。

【6回裏】先頭の福岡のヒットと新城の権打で1アウトランナー2塁とすると、木田は凡退するも3塁に進塁し、小川の本日2本目のタイム

リーヒットで1点返す。

【7回表】2番手の大久保はヒットと死球で2アウトランナー1・2塁とされると、後続にタイムリーヒットを浴び、1点追加される。ここ

で3番手の三宮に継投し、後続は抑える。

【9回裏】先頭の森のヒットと高瀬の死球などで2アウトランナー1・3塁とチャンスを作るも、道端が内野ゴロに倒れ試合終了。

2022 年 5 月 26 日 (木)

大田スタジアム

13 時 12 分 ~ 16 時 03 分

第93回都市対抗野球大会東京都二次予選

敗者復活
1回戦

VS TOKYO METS

【インニングスコア】

四死球数	0	0	0	1	2	2	1	4	0	10
安打数	1	0	2	1	2	1	0	0	2	9
明治安田生命	0	0	1	0	2	1	0	1	1	6
TOKYO METS	0	0	2	0	1	1	0	0	0	4
安打数	1	1	3	0	1	1	0	0	1	8
四死球数	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3

【バッテリー・長打】

明治安田生命

TOKYO METS

投手	小玉、小林、石毛○、森井、中崎	投手	樺尾、ディロルフ、植田●、若松
捕手	道端、森川	捕手	小野寺颯
二塁打	木田、森(4回、9回)	二塁打	
三塁打		三塁打	
本塁打		本塁打	小野寺颯(6回ソロ)

【野手個人成績】

打順	守備位置	選手名	所属	インニング									打席	打数	安打	公式戦 通算打率
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	(3)	福岡	所沢支社	一ゴロ		右飛		三安	左安①		見三振		5	5	2	.300
2	(4)	新城	東京第二マーケット開発部	捕ゴロ		犠飛①		四球	三邪飛		四球①		5	2	0	.333
3	(5)	木田	川崎支社	中安		左2		中安②		右飛	二飛		5	5	3	.296
4	(DH)	小川	立川支社	二ゴロ		一直		右邪飛		四球		左安	5	4	1	.186
	R	伊藤	浦和支社	0	0	0	.333
5	(6)	高瀬	総合法人第四部		右飛		見三振	死球		二併打		三併打	5	3	0	.276
6	(7)	森	総合法人第五部		敵失		左2	中飛			四球	右2①	5	4	2	.308
7	(9)	永廣	町田支社		中飛		死球		四球		投権打	左飛	5	2	0	.242
8	(2)	道端	東京第二マーケット開発部	二ゴロ			三併打		四球		四球	.	4	2	0	.097
	2	森川	町田支社	見三振		1	1	0	.143
9	(8)	鈴木	丸の内支社			遠安		二ゴロ	見三振		.		3	3	1	.235
	H8	井村	武蔵野支社			.		.	.		四球		1	0	0	.375
チーム合計												44	31	9		

【投手個人成績】

登板順	選手名	所属	勝敗	投球回	球数	打者	被安打	与四死球	奪三振	失点	自責点	公式戦通算 防御率
先発	小玉	新宿支社		3	62	13	5	1	3	2	2	4.21
2番手	小林	東京第一マーケット開発部		3	40	12	2	0	4	2	2	3.50
3番手	石毛	丸の内支社	勝	1 1/3	10	4	0	0	0	0	0	4.85
4番手	森井	新宿支社		2/3	11	2	0	1	1	0	0	0.00
5番手	中崎	東京第一マーケット開発部		1	24	5	1	1	0	0	0	2.87
チーム合計				9	147	36	8	3	8	4	4	

【試合詳細】

苦しい展開が続くも、勝利を収めた。

- 【3回裏】先頭の鈴木はヒットと盗塁などで1アウトランナー3塁とすると、新城の犠飛で1点先制する。
【3回裏】先発の小玉は連打と犠打などで2アウトランナー2・3塁とされると、後続に2点タイムリーヒットを浴び、逆転を許す。
【5回裏】1アウトから福岡のヒットと新城の四球などでランナー2・3とすると、木田の2点タイムリーヒットで逆転に成功する。
【5回裏】2番手の小林は1アウトから森の失策でランナー3塁とされると、後続にタイムリーヒットを浴び、同点にされる。
【6回表】先頭の永廣と道端の連続四球などで1アウトランナー1・2塁とすると、福岡のタイムリーヒットで1点勝ち越す。
【6回裏】小林は先頭打者にソロ本塁打を浴び、同点にされる。
【8回表】森、道端、代打井村が四球を選び、1アウトランナー満塁とすると、福岡が押出しの四球を選び、1点勝ち越す。
【9回表】先頭の井村のヒットと高瀬の犠打で1アウトランナー2塁とすると、森のタイムリー2塁打で1点追加する。
【9回裏】5番手の中崎はランナー1・2塁を背負うも、後続を抑え、試合終了。

2022 年 5 月 24 日 (火)

大田スタジアム

13 時 09 分 ~ 15 時 49 分

第93回都市対抗野球大会東京都二次予選

1 回戦

VS

JR東日本

【イニングスコア】

四死球数

0 1 0 1 0 1 0 0 0 3

安打数

1 3 0 0 1 2 0 1 1 9

JR東日本

0 3 0 0 0 3 0 0 0 6

チーム名

1 2 3 4 5 6 7 8 9 計

明治安田生命

0 0 0 0 0 1 0 0 0 1

安打数

1 0 0 1 0 3 1 0 1 7

四死球数

0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

【バッテリー・長打】

JR東日本

明治安田生命

投手	小谷野○、川西、市川、西居	投手	三宮●、大久保、森井、中崎
捕手	渡辺	捕手	道端、森川
二塁打	佐藤	二塁打	森
三塁打	杉崎	三塁打	
本塁打	小椋(6回3ラン)	本塁打	

【野手個人成績】

打順	守備位置	選手名	所属	イニング									打席	打数	安打	公式戦 通算打率	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	(3)	福岡	所沢支社	右安		二ゴロ				左安		一ゴロ		4	4	2	.292
2	(8)	井村	武蔵野支社	三権打			遊安			右安		空三振		4	3	2	.375
	8	鈴木	丸の内支社	・			・			・		・		0	0	0	.226
3	(4)	新城	東京第二マーケット開発部	遊飛			捕権打			右安		空三振		4	3	1	.351
4	(DH)	小川	立川支社	一ゴロ			二ゴロ			犠飛①		投ゴロ		4	3	0	.179
5	(5)	木田	川崎支社		空三振		見三振			空三振		・		3	3	0	.265
	H	伊藤	浦和支社		・		・			・		遊ゴロ		1	1	0	.333
6	(7)	森	総合法人第五部		右飛		遊ゴロ			左安		右2		4	4	2	.222
7	(6)	高瀬	総合法人第四部		投ゴロ			中飛		右飛		空三振		4	4	0	.291
8	(2)	道端	東京第二マーケット開発部			空三振		左飛		・				2	2	0	.103
	H	泉澤	八王子支社			・		・			空三振			1	1	0	.231
	2	森川	町田支社			・		・		・				0	0	0	.150
9	(9)	永廣	町田支社			中飛				空三振	二飛			3	3	0	.258
チーム合計												34	31	7			

【投手個人成績】

登板順	選手名	所属	勝敗	投球回	球数	打者	被安打	与四死球	奪三振	失点	自責点	公式戦通算 防御率
先発	三宮	新横浜支社	負	5 2/3	105	27	7	3	4	6	6	5.40
2番手	大久保	業務部業務G		1 1/3	10	4	0	0	1	0	0	5.79
3番手	森井	新宿支社		1	14	4	1	0	0	0	0	0.00
4番手	中崎	東京第一マーケット開発部		1	16	4	1	0	0	0	0	3.07
チーム合計				9	145	39	9	3	5	6	6	

【試合詳細】

投打が噛み合わず、都市対抗二次予選は黒星スタートとなった。

【2回表】先発の三宮は連打と死球でノーアウトランナー満塁とされると、後続に犠飛とタイムリー3塁打を浴び、3点先制される。

【6回表】三宮は先頭のヒットと四球、自身の暴投などで2アウトランナー1・3塁とされると、相手代打に3ラン本塁打を浴び、3点追加される。ここで2番手の大久保に継投し、後続は抑える。

【6回裏】1アウトから福岡、井村、新城の3連打で1アウトランナー満塁とチャンスを作ると、小川の犠飛で1点を返す。さらに反撃したい打線だったが、2番手投手に継投され、木田は三振に倒れる。

【9回裏】2アウトから森が2塁打で出塁するも高瀬が三振に倒れ、試合終了。